

2段筋かい新・つくば耐力壁〈K型〉〈X型〉施工手順書

【セット内容】

〈K型〉
筋かい金物(4個) / 中棧金物(2個) / 角ビットビス TBA-45(赤)(48本) / TBA-65(灰)(36本) / ドリフトピン MDP-103またはMDP-118(4本) / 筋かい(2本) / 中棧(1本) / 施工手順書(1部) / 設置位置・寸法確認図(1部)

〈X型〉
筋かい金物(8個) / 中棧金物(2個) / 角ビットビス TBA-45(赤)(80本) / TBA-65(灰)(72本) / ドリフトピン MDP-103またはMDP-118(4本) / 筋かい(4本) / 中棧(1本) / 施工手順書(1部) / 設置位置・寸法確認図(1部)

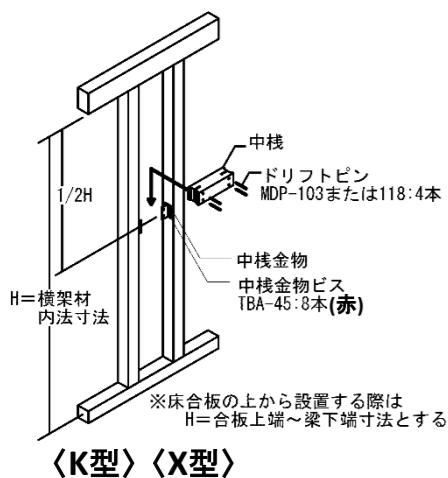
【使用上のご注意】

- ・金物は必ず指定された接合具を用いて施工をして下さい。
- ・ケガ防止のため保護用メガネ、手袋等を着用して作業を行って下さい。
- ・現場で木材の防腐処理、防蟻処理を行う場合は、薬剤が金物に付着しないようご注意ください。

【施工方法】

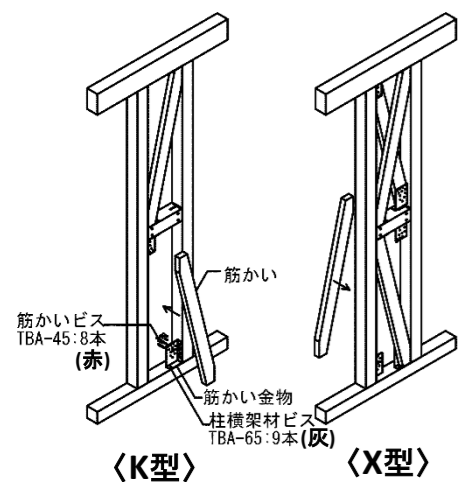
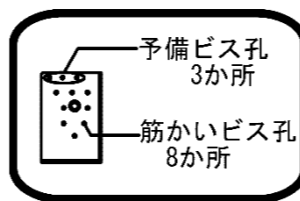
(1) 中棧金物および中棧の取付 〈K型〉〈X型〉

- ・設置位置・寸法確認図で新・つくば耐力壁の設置箇所を確認する。
- ・中棧金物の位置が横架材内法の中心となる様に、柱に墨付けを行う。
床合板の上から設置する際は、合板上端～梁下端の中心に墨付けをする。
- ・墨付け線と中棧金物の中心刻印線を合わせ、
ビスTBA-45(赤) : 8本で取り付ける。
- ・中棧を中棧金物へ落とし込み、ドリフトピン MDP-103またはMDP-118 : 4本で取り付ける。



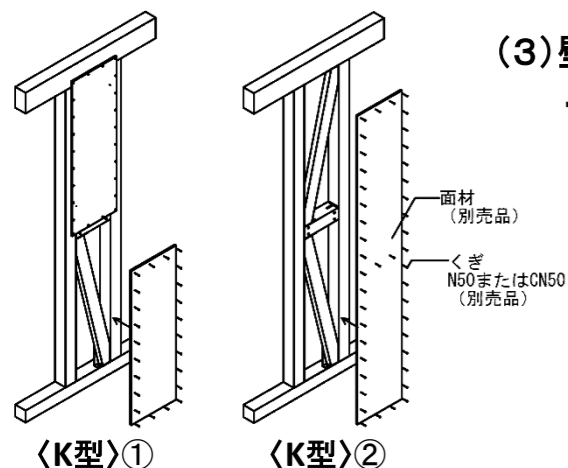
(2) 筋かい金物および筋かいの取付 〈K型〉〈X型〉

- ・建物設計図面に筋かいの方向指示がある場合は、指示に従い施工をする。方向指示がない場合は、設置注意事項に配慮しながら、建物設計者または現場監督の指示に従い方向を決める。
- ・筋かいは、同寸法の対称形状となっている。上下左右の反転および入れ替えをして取付方向に対応する。
- ・筋かい金物をビスTBA-65(灰)柱側:7本、横架材側:2本で取り付ける。
- ・筋かい金物内側に筋かいはめ込み、
ビスTBA-45(赤) : 8本で取り付ける。
- ・ホールダウン用アンカーボルト等の干渉により、ビスが打ちにくい場合は、予備のビス孔を使用して施工する。



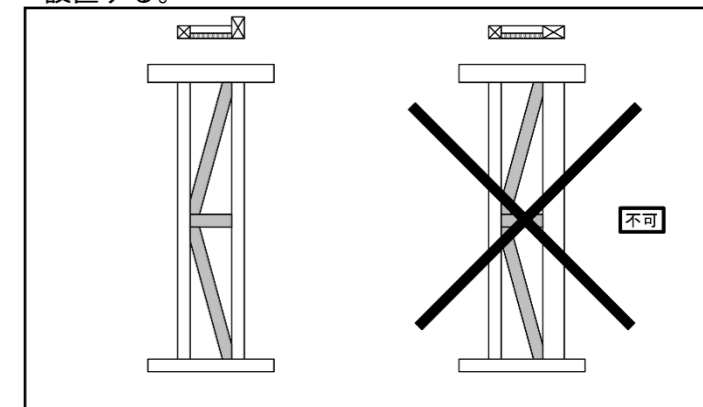
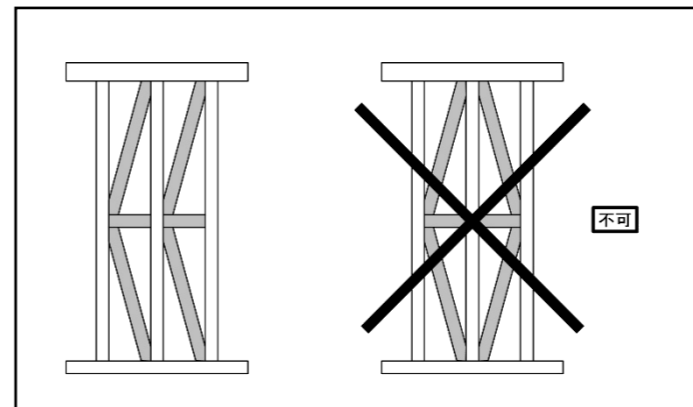
(3) 壁下地面材※を取り付ける場合 〈K型〉のみ

- ・以下①または②の方法で施工する。
 - ①中棧を介して大壁片面上下2枚張り。
外周くぎ打ちN50またはCN50 /150mmピッチ。
上下面材間には3~6mm程度のスキマを設ける。
 - ②大壁片面1枚張り
外周+中棧1列くぎ打ちN50またはCN50 /150mmピッチ。
- ※面材およびくぎは別途ご用意いただく必要があります。

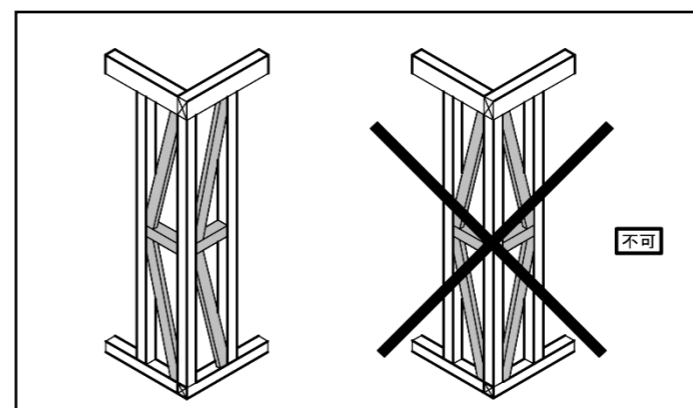


【設置注意事項】

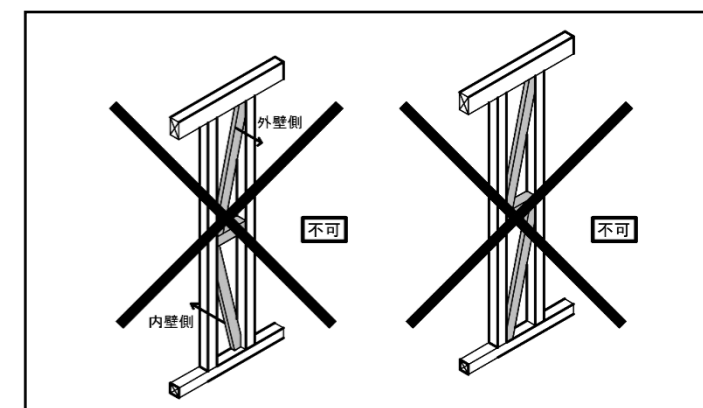
- (1) 直列に連続設置をする場合は、筋かいの方向を揃える。
(2) 扁平柱へ設置する場合には、筋かいを柱の長辺方向へ設置する。



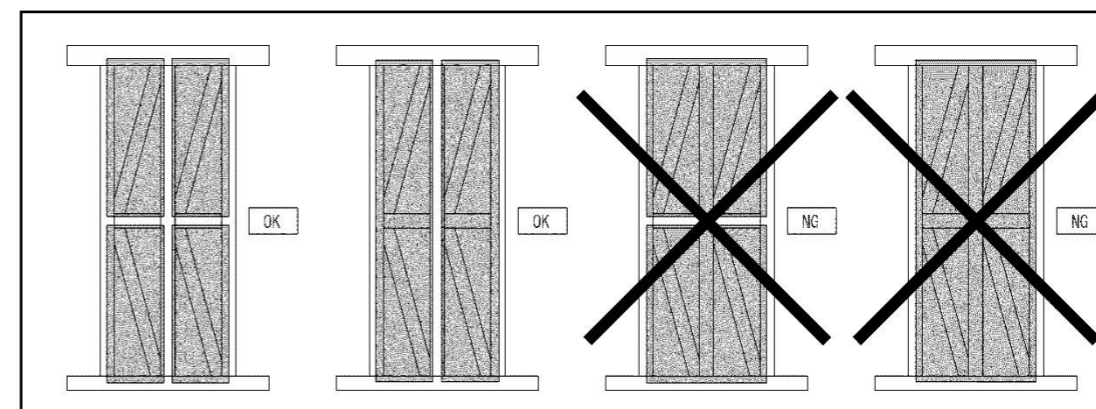
- (3) 直前に配置する場合には金物のビスが干渉しない様に筋かいの傾斜方向を揃える。



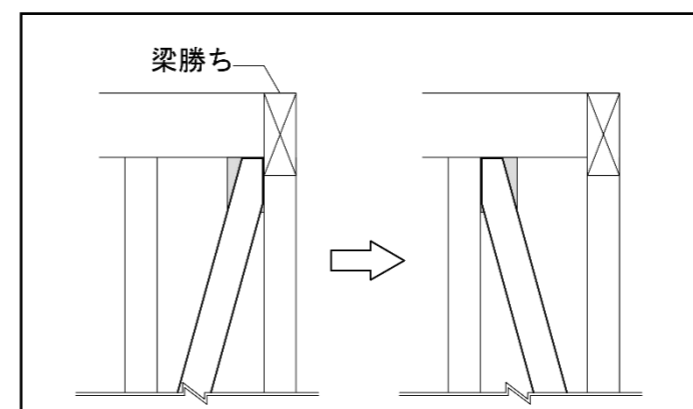
- (4) 上下の筋かいを外壁側と内壁側にずらしての設置および傾斜を同一方向にした設置をしてはならない。



- (5) 面材は「新・つくば耐力壁」1壁ごとに施工する。壁間にまたがる張り方をしてはならない。



- (6) 筋かい金物が梁と柱間にまたがる場合は、取付方向を反転するなどして対応する。



本製品に関するお問い合わせ先

株式会社タナカ新つくば耐力壁推進課
TEL:029-885-2211
FAX:029-885-6301
株式会社タナカCSセンター
TEL:0120-558-313
FAX:029-830-6119